

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	38443
事業名	まちづくり戦略ビジョン策定費					
評価担当課	所属名	政)政策企画部 企画課				
	課長名	中本和弥	担当者名	田中滋、笠井知紗子	電話番号	211-2192
施策名	主	さっぽろ未来創造プロジェクト				
	副					
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外		戦略ビジョン	● 対象 ○ 対象外		
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費					
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理					
事業内容	実施形態	○ 直営 ● 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助助成 ○ その他				
	目的	短期	現ビジョンの検証、各種調査の実施、策定方針の作成と議会説明、都市像・基本目標・ビジョン編本編の内容の検討、審議会の発足と運営、各種市民参加事業の実施、経済界との意見交換の実施			
		長期	第2次札幌市まちづくり戦略ビジョンの策定、共有及び推進			
	取組内容	札幌市の長期的なまちづくりの指針である「札幌市まちづくり戦略ビジョン」(平成25～令和4年度)の次期計画「第2次札幌市まちづくり戦略ビジョン」を策定する。 ①札幌市まちづくり戦略ビジョン審議会運営 ②各種市民参加事業運営 ③パブリックコメント(ビジョン編)				
	実施結果	①審議会・専門部会運営:計4回開催。新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、R4に一部先送りする等、R3.5以降の策定スケジュールを見直した。 ②各種市民参加事業運営(市民アンケート、市民ワークショップ):現行の基本目標等について、市民1万人を対象としたアンケート実施。オンラインの市民ワークショップ(全3回)を実施。 ③パブリックコメント(ビジョン編):上記の策定スケジュール見直しにより、R4年度に延期。				
事業実施における工夫点	審議会や市民参加事業の実施にあたり、感染症拡大状況下でも対応できるよう、一部オンライン手法を取り入れた。					
対象者	市民	開始	令和2年度	終了	0年度	
関連法令・条例・要綱等	札幌市自治基本条例、札幌市まちづくり戦略ビジョン審議会条例					
他都市の状況	まちが目指す将来像と将来の目標を明らかにするため、全政令市で総合計画を策定している。					

◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算	
事業費	15,958	38,000	20,049	23,000	
うち特定財源	4,200	0	0	0	
人工	4.1	4.1	4.1	4.1	
人件費	29,520	29,520	29,520	29,519	
計(事業費+人件費)	45,478	67,520	49,569	52,519	
事業費の内訳	令和3年度決算	①審議会・専門部会開催(報酬・旅費・会場費等)(3,983千円) ②各種市民参加事業運営(市民アンケート、市民ワークショップ)(8,393千円)等 計20,049千円			
	令和4年度予算	①審議会・専門部会開催(報酬・旅費・会場費等)(7,070千円) ②ビジョン編 パブコメ(キッズコメ)(2,150千円) ③市民ワークショップ(5,000千円) ④ビジョン編 暫定版作成・配布(4,000千円)等 計23,000千円			

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
活動指標2	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
成果指標1	指標名	第2次札幌市まちづくり戦略ビジョンの策定			
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
	検討	ビジョン編策定	ビジョン編策定	戦略編策定	
成果指標2	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
項目	判定	理由			
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、オンライン手法を併用しつつ、審議会及び専門部会(計4回)、市民アンケート、市民ワークショップ(全3回)を実施。			
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	今後10年間のまちづくりの指針として、専門的な見地から検討を進める必要があるため、学識経験者及び市民委員等25名からなる審議会を開催。また、第2次戦略ビジョンに市民の意見やニーズを反映させるべく、各種市民参加事業を実施。審議会や市民参加事業の開催にかかる費用が主であり、規模水準は適切と考える。			
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	計画の核となる部分の検討は自課で実施しつつ、一部事業は専門知識をもつ民間業者に委託するなど、実施主体は適切に選択されており、効率的に事業を進めることができた。			
対象者の満足度 (対象者のニーズに応えているか)	A	市民アンケート及びオンライン形式の市民ワークショップを実施し、市民の意見を直接聴く機会を設けた。			
市民参加の実施	<input checked="" type="checkbox"/> 企画 <input checked="" type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input type="checkbox"/> 対象外 市民参加結果への対応 <input type="checkbox"/> 回答 <input checked="" type="checkbox"/> 反映				
今後の改善点	なし				
前回の評価	○ A ● B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
今年度取り組んだ見直し内容	感染症拡大状況下でも実施できるオンライン手法を交えながら、審議会、市民参加事業を実施。		見直し効果額 (前年度)	0	千円
今回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
評価の理由	策定状況は概ね順調である。				
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	○ 改善 ● 現状維持 ○ 休止・廃止 引き続きオンライン手法を交えながら、審議会及び市民参加事業を実施していく。			
	予算	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ その他 策定の進捗状況を踏まえ、適切な予算措置を行う。		見直し効果額	0 千円